

別添資料 3

【参考】既存研修における受講者コメント

(注) 既存研修業者の具体的な研修手法等が明記されたものについては、割愛しています。

新任担当長（行政職）マネジメント研修

- ・マネジメントにおいて、具体的な対応方法、行動につながる内容であった。特に、部下の視点でどう感じるかの言及があったことが理解につながった。
- ・マネジメント研修の中で、部下とのかかわり方や面談の方法等、お互いが気持ちよく業務ができる方法を、事例を含めながらわかりやすく解説していただいたので、理解がしやすかったです。
- ・マネジメント研修2日目を、6月後半で実施して欲しい。第1四半期の振り返りである1 on 1 面接に活かされるとよかったと思う点がたくさんあったため。演習は大変気づきが大きかった。
- ・生まれ育った環境によって考え方・文化が違うが、異なる考え方の相手とのコミュニケーションの方法のヒントが得られたと思う。
- ・事例や関連する知識等を混ぜた説明が随所であり、理解しやすかった。
- ・新任担当長はこれまでの立場から環境が大きく変わる職員が多いと思うため、早く担当長を経験した職員からの意見や感じた課題を共有できるような時間があると良い。
- ・各段階でグループワークが入るが、まず個人で行う作業において、少し時間が短いところもあり、討議への準備に不足が生じる部分が多かった。
- ・部下がメンタル不調になってから、どういった関わり方をしたらよいかわからず、あまり会話ができていなかったところ、研修で学んだコミュニケーションスキルで対話をするイメージが持てたので面談の場をもった。

新任副主幹（行政職）マネジメント研修

- ・ディスカッション形式の研修でそれぞれの意見を聞くことができ違った考え方が参考になった。肯定的な見方があまりできていないことを改める機会となった。
- ・研修を受け、人材育成や人材マネジメントは非常に難しいと感じました。特に自己で考えるマネジメントができていなかったことを痛感しました。今回研修で学んだスキルを今後の人材育成に活用していきたいと思います。
- ・担当者に自ら考えることを期待しているが、はじめからできる担当者もいれば、なかなか理解をいただけない担当者もいるのが現状だという認識で、自分で考え行動していくために管理職として、何をしていくべきなのかのヒントがあり、参考になること多かった。
- ・一方的な受講形式でなく、受講者が考える場面が多かったので良かったと思います。
- ・部下と共有するビジョンを設定することで業務を推進する力となる等、納得できることが多く良い研修であった。
- ・自ら考え、行動することがもっと全庁的に認められるようになるといいと感じる。組織目標達成、効率的組織運営と能力開発、キャリア開発どちらを優先させるのかなど、難しい課題だなあと感じた。
- ・1回目と2回目の期間が空くため、正直1回目の内容を2回目では忘れてしまっており、「事後課題の作成を1回目の直後にすべきだった」と反省しております。
- ・講師目線がいいので、参考図書の紹介がほしい。研修は一時的なため、今後参考になるビジネス雑誌や書籍の紹介があると、継続できたり、学んだことがより深まると思います。

リーダーシップ研修

- ・事前課題やテキストがしっかりしていたため、実際の講義やグループ討議の中では、自分の考えた内容との比較や自分以外の参加者やグループの意見による上乘せが少しあったように思います。
- ・組織とは何ぞや。改めて組織を認識するよい機会であった。毎年の重点目標の重要性を再認識できた。現在のコロナ環境下、業務が膨らみ、仕事に追われ部下と深く関わりを持つことが難しくなった昨今、どのような手法で部下の様々なことを把握すればいいのかとても難しい。そのあたりのアドバイスも欲しいと感じた。
- ・新しい気づきにつながった。これまでの成功体験を押し付けるやり方は良くないと気付いた。
- ・現代におけるリーダーシップのあり方、モチベーションの考え方など、現在私自身が置かれた職務上の部下との関係を構築する上で大変役に立つ内容で、有益に感じました。
- ・1日、班編成が同じだったため、交流を深める意味でも午前と午後で人が入れ替わると更によかったのではないかと思った。
- ・事前の予習は大変だったが、予習ができていたため内容の理解度が高まったと思う。研修で学んだ理論をいかに実業務に生かせるかがいつも課題に感じる。
- ・事前研修では、期間が1カ月間あったり、映像で分かりやすく説明してくれたりしていたが、平日の帰宅後や土日（子供の送迎などを終わらせた後）の遅い時間でしか事前研修に取組むことができず身体的精神的にかなりつらかった。

戦略思考研修

- ・戦略の内容には馴染みがなかったが、その全体像やポイントを学ぶことができ、大変参考になった。行政の現場においても、経営戦略の策定のポイントなどは応用できる場面もあり、今後はより意識的に業務の中で取り入れたいと感じた。
- ・自分たちの戦い方（目的と何をやって何をやらないか）を意識する必要性を強く感じた。「何をやるか」について議論しない気風があるが、そこに切り込んでいかないと「何はやりつづけるか」について先鋭化していけないと思った。
- ・戦略について、今まで意識をしていなかった分野の研修であった。研修前までは苦であったが、実際に受けてみると意外に興味深く良い研修であった。
- ・やみくもに立案するのではなく、プロセス毎に検証を進めることで、無駄や重複、漏れを無くし、継続的に有効にするために、適所で見直しや強化が必要であることも理解できました。
- ・これまでの固定観念に囚われず、俯瞰的な視点と将来性ある視点で物事を分析し、今後の職務に活かしていきたいと考えています。
- ・これまで業務の中で新規事業を考えたり事業の見直しを検討する際に、感覚的に社会動向やニーズを調査していたが、体系的な整理の仕方を学ぶことができ、具体的に業務に生かせそう
- ・普段あまり考えないような内容で、なんとなくぼんやり戦略とか理解していたつもりでしたが、我々公務員にも今後人口減少時代に持続可能な行政経営をしていく上で必要な知識だと思った。
- ・自治体運営ではこれまであまり触れてこなかった経営戦略的な講義であったため貴重な経験ができた。
- ・行政運営においても、事業評価やそれに伴う見直し、予算の組立等について参考にできる内容だった。
- ・他自治体の事業的側面で成功した事例を紹介できる、横展開で実践できる研修があると良いと思います。